

企画提案書作成事項及び評価基準

企画提案書の作成事項は下記表中①②③および個別課題（提案内容評価①②）を必要最低限の作成事項としますのでこれらの内容を盛り込んで作成してください。

	評価項目	評価の視点	評価基準	評価点
組織評価	業務執行技術力	経営規模の妥当性	資本金、売上高等	5%
	業務執行技術力	業務を遂行するために必要な知識・経験を有しているか	国・地方公共団体等への導入実績	5%
提案内容評価（プレゼンテーション評価）	①提案事項を実施するにあたっての取組方針	仕様書等の理解は十分か	① 目的認識及び課題分析が来ているか	5%
	②業務の実施手続き	業務実施手続きを示す業務フローまたは工程表等は妥当か	① 実施フローまたは工程表等の的確性 ② 作業工程に余裕があるか	5%
	③提案内容の的確性	業務要求水準に満たしているか	① 多様なキャッシュレス決済手段があるか ② 証紙の売り上げ、決済代行手数料等の円滑な集計が可能か ③ 市民にとって操作性が良いか ④ ユニバーサルデザイン（多言語対応等）	30%
		提案内容評価に関する提案	① 現状の課題を把握しているか ② 各提案内容評価にある課題を解決できるか	10%
		稼働前の支援	① 円滑な導入ができる体制か ② 券売機の操作説明、マニュアルの提供等、稼働に向けた（職員への）支援があるか	5%
		稼働後の支援	① 稼働後の支援体制、保守体制 ② 不具合が起こった場合、問題に即応できるか	5%
		業務手法は的確であるか	① 業務手法の妥当性	5%
	事業者の信頼度	プレゼンテーションの内容について	① 提案事業者に意欲や熱意、理解があるか ② 提案書に誤字・脱字はないか ③ プレゼンテーション時間は短すぎず、所要時間内で完了したか	5%
	価格	提案内容に対しての価格は妥当か		20%

<提案内容評価①>

利用者には担当課で手続きを行い、必要な手数料金額を聞いてから証紙を購入していただいておりますが、証紙を誤って必要金額以上購入する方や、必要枚数以上購入してしまう方がいます。

これまでは、支払い手段が現金のみであったことから返金対応が可能でしたが、この先、キャッシュレス決済を導入するにあたり、キャッシュレス決済で購入された証紙分の返金対応は難しいと考えています。そのため、証紙の購入誤りを削減するための対策等、券売機で実施できるものがあれば述べてください。

<提案内容評価②>

証紙券売機の売り上げ集計作業は、担当課が保管している証紙の半券を手作業等で数えなければいけないため多くの時間を要しており、大変苦慮しています。また、証紙自動券売機の売上は一度会計課において収納し、その後各課の証紙による手数料収納状況を確認し、収入金額を振り替えています。担当課からの報告の遅滞や報告漏れがあっても、確認することができず、確認事務が繁雑になっています。

支払手段にキャッシュレス決済を導入すると、決済代行別の利用件数の集計等の新たな事務も必要になることが予想されます。上記のような各種集計を行う際に、職員の事務負担が軽減されるような機能等あれば述べてください。

【注意事項】

- ※ 合格基準点は総評価点の 60%とし、合格基準点に満たない場合は委託先候補（優先交渉者）として選定しないものとします。
- ※ 価格点（コスト）は総評価点のうち 20%とします。
- ※ プロポーザルに参加意思表示をした事業者が一者のみの場合においては、見積価格を除いた評価点にて判断します。